

個別保健事業の評価(事業8)

事業名	地域の介護予防活動の拡充（一般介護予防事業）					
年 度	令和 5 年度・令和 6 年度					
目的・概要	高齢者が地域の中で役割を持つことや地域活動に参加する機会を確保することで心理的・社会的フレイルの予防を図るとともに、体操を通じた活動等を支援することで身体的フレイルを予防し健康寿命の延伸を図る。					
具体的内容	・ 概要：地域の介護予防活動をけん引する「介護予防リーダー」の養成を行うとともに、地域介護予防教室や近所 de 元気アップトレーニングなどに対する支援等を行うことで、住民主体の通いの場の拡充を図る。 ・ 対象者： 6 5 歳以上の者					
評 価	評価指標	策定時 (令和 4)	経年変化			
	介護予防に資する住民運営の通いの場（おおむね週 1 回以上定例開催）団体数（団体）	161	年 度	令和 5	令和 6	令和 7
			目標値		170	180
			実測値	132	145	—
	介護予防に資する住民運営の通いの場（おおむね週 1 回以上定例開催）参加率（％）	7.3	年 度	令和 5	令和 6	令和 7
			目標値		7.5	7.7
実測値			7.7	7.1	—	
評価の まとめ	住民主体の介護予防活動をけん引する役割として介護予防リーダーを養成するとともに、地域介護予防教室の活動を支援した。また、住民同士の介護予防活動として近所 de 元気アップトレーニングの活動を支援し、通いの場の拡充につなげた。 ・ 令和 5 年度：介護予防リーダー新規養成数：26 名/地域介護予防教室新規立ち上げ数：1 団体/近所 de 元気アップトレーニング新規活動団体数：6 団体 ・ 令和 6 年度：介護予防リーダー新規養成数：19 名/地域介護予防教室新規立ち上げ数：1 団体/近所 de 元気アップトレーニング新規活動団体数：4 団体					
令和 7 年度 以降の方針	地域介護予防教室など高齢支援課が支援している通いの場は拡大しているが、その他の住民主体の通いの場の実態は把握しきれていない状況である。そのため、令和 6 年度から介護予防・フレイル予防推進員及び第 2 層生活支援コーディネーターと共に通いの場の把握と施策の方向性を話し合う機会として「通いの場戦略会議」を開始している。令和 7 年度は通いの場の実態を踏まえた分析を進めることで令和 8 年度以降の通いの場の戦略的な展開につなげていく。					